

## 1 プログラムの名称

久留米大学整形外科専門研修プログラム

## 2 研修期間

4年

## 3 募集要項

募集人員： 6名

募集期間： 一次募集：  
二次募集：  
→日本専門医機構のスケジュールに準ずる。

応募資格： 医師免許を有している者。  
臨床研修を修了している者、または修了見込みの者。

応募方法： 履歴書(1部)、  
臨床研修修了証明書もしくは修了見込み証明書(1部)、  
医師免許証の写し(1部)

選考方法： 書類審査、面接

選考日： 募集期間確定後、応相談

処遇： 大学規定に準ずる。

## 4 プログラム統括責任者・指導医数

プログラム統括責任者：平岡 弘二

指導医数 81名

## 5 主な連携施設

久留米大学医療センター、聖マリア病院、筑後市立病院、大牟田市立病院、公立八女総合病院、柳川リハビリテーション病院、済生会二日市病院、済生会日田病院、社会保険田川病院、宗像水光会総合病院、甘木中央病院、熊本セントラル病院、薩摩郡医師会病院、啓心会病院、戸畑共立病院、高木病院、JCHO久留米総合病院、岩尾整形外科病院、百武整形外科病院、城内病院、五反田病院、済生会嘉穂病院、久恒病院、三愛メディカルセンター

## 6 プログラムの特色

久留米大学整形外科専門研修プログラムの特徴を一言で言うと、90年の歴史で築かれてきた約30の研修施設群で、独自に効率よく研修ができることです。基幹施設および連携施設で、脊椎外科、関節外科、スポーツ整形外科、手外科、外傷、腫瘍、小児整形外科など専門性の高い全ての診療部門を網羅しており、専攻医は早くからこれを研修することで、整形外科専門医取得後のサブスペシャリティ領域の研修へと継続していくことができます。

また基幹施設である久留米大学病院における研修では、サブスペシャリティに対する専門性の高い研修に加えて、大きな特徴である大学院大学の特徴を活かし、大学院進学、博士号取得に備えた臨床研究および基礎研究への深い関わりを持つことができます。また当プログラムでは整形外科分野の多様性にいち早く対応できるよう、久留米大学整形外科では機能分担と地域医療の充実を目指して、大学病院に脊椎脊髄、骨軟部腫瘍、手外科、高度外傷、救急救命センターを集約し高度急性期医療に対応しています。また、同じく久留米市内で大学病院から約5kmの距離にある久留米大学医療センターには、関節外科センターとして肩関節、肘関節、股関節、膝関節、足関節、スポーツ整形外科、運動器リハビリテーションを担当する指導医を配置し、人工関節や関節鏡を駆使した高度な手術から、回復期リハビリテーションまで、一貫した診療を行います。各部門には、それぞれの専門分野に精通し卓越した技術を持つ責任医師がおり、診療、教育、研究に従事しています。総合的な整形外科医を育成するために、麻酔科など、必要があれば他科と連携して、整形外科以外の研修を行うことも久留米大学整形外科での研修の特色と言えます。

## 7 プログラム統括責任者から一言

超高齢化社会を迎える現在では、骨粗鬆症、運動器不安定症や各種骨折を対象とする整形外科の需要はますます高まっています。久留米大整形外科では、後期研修を充実させ、一人でも多くの優秀な整形外科医を育てるよう研修プログラムを組んでいます。専攻医の先生へ整形外科診療のコツとピットフォールについて、各専門スタッフからWEBセミナーを開催しています。もちろん研修内容については、出身大学や前期研修病院による違いはありません。例年入局いただく先生方は6名程度が多く、専攻医同士も指導医との距離感も近く、個々に相談しやすい環境です。研修内容も個々の特性を尊重し、公平さを保ちながら将来の展望を相談しながら対応しています。手術、体育会系の印象が強いと思われるがちの整形外科ですが、近年、より内科的に特化している整形内科としての役割も多く、こちらの人材育成にも力を入れています。とにかく手術がしたい、手術はせずに整形内科的な診療がしたい、研究に力を入れたい、早めに開業したい、全身管理もできるようになりたい、などなど、個人的に相談のうえですべての道が準備できることを約束します。多くの先生と一緒に働けることを期待しています。

## 8 連絡先・担当者

830-0011 福岡県久留米市旭町67  
久留米大学整形外科教室 医局長 吉田 史郎  
TEL:0942-31-7568 FAX:0942-35-0709  
seikei@med.kurume-u.ac.jp

## 9 研修プログラムのURL

[https://kurume-ortho.jp/training\\_programme](https://kurume-ortho.jp/training_programme)

